

委員会レポート

行政視察・・・議員が先進的な取り組みをしている自治体や団体に出向いて、その施策やその地域の行政・文化等の実情を視察することです。

先進地から学ぶ・・・

行政視察

の結果を報告します



沖縄市防災研修センター

沖縄市防災研修センターは、市民への啓発活動・防災に関する情報提供だけでなく、災害に関する研修や地震体験ができます。

特に、昨年の東日本大震災発生以降は利用者が増え、市外からの利用者も3倍になっています。

防災意識の向上に大きな役割を果たす施設であることが伺えました。

現在、本市においても市地域防災計画の見直し作業中であり、市民の安全・安心なまちづくりに向けた早急な対応が求められています。

沖縄県中頭郡北谷町

なかがみぐんちやたんちよう

北谷町は、沖縄本島の中部に位置し、面積の約50%に米軍基地があります。

町では、住民の生命や財産を守り平穏で住みよい北谷町を築くため、基地被害の再発防止に努めるよう米軍・国・関係機関に対して、随時、抗議や要請が行われています。特に、嘉手納飛行場の航空機騒音については、北谷町・沖縄市・嘉手納町で構成する「嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会」(三連協)を結成して、対応していました。

百里基地に隣接する本市でも騒音被害等の軽減に向けた対策が必要となっています。

総務委員会

期間 6月27～28日

視察内容

- ①「防災対策」
- ②「騒音基地対策」

経済建設委員会

期間 7月9日～10日

視察内容

- ①「ごみ処理施設」
- ②「公共施設における環境エネルギー活用」

エコフロンティアかさま

エコフロンティアかさまは、茨城県環境保全事業団が運営する管理型産業廃棄物の最終処分場です。施設では、県内の産業廃棄物と約10,000世帯分の家庭ゴミが1,300度の高温でゴミを溶融する高温ガス化直接溶融方式で処理され、東京ドーム2個分の最終処分場に埋め立てられています。

また、最終処分場で発生した汚水も適切に処理され、排水基準以下の水質にまで浄化しています。

これらの、処理過程で発生する蒸気は発電に利用され、1日7,200キロワットの電気が施設内で利用されています。

本市では、環境美化センターの老朽化に対する対策が求められています。

埼玉県行田浄水場

行田浄水場は、埼玉県行田市周辺の24市町に給水をしています。

環境負荷低減の取組の一環として、今年3月から太陽光発電設備を稼働し、電力使用量の削減に努めています。

施設改修費を含む工事費は5億円以上、太陽電池パネル5,040枚を設置し、1年間で約1,600万円の電気料削減を可能にしました。設置費用は高いものの、クリーンで二酸化炭素等の排出削減の効果もあり、国内でも注目されています。

本市でも、公共施設の電力使用量削減に向け対策が必要と考えます。



御殿場市民交流センター

「ふじざくら」

御殿場市では、社会福祉協議会・児童館・老人福祉センターなどの老朽化した施設を集約し、「市民交流センター」へ集約することで総合的福祉機能を整えた世代交流多目的施設を開館させました。ユニバーサルデザインが採用された建物は、障害を持つ人にも配慮がされています。

また、世代・地域・事業間で交流できるように工夫され、昨年の利用者数は71万人を超えました。

本市でも世代交流・多目的交流の機会創出について検討が求められています。

教育厚生委員会

期間 7月31日～8月1日

視察内容

- ① 「地域交流福祉施設」
- ② 「小中一貫教育」

埼玉県八潮市

八潮市では、児童・生徒の学力低下や不登校・問題行動を解消のため、八潮市小中一貫教育「はばたきプラン」として推進しています。離れた場所にある学校間の交流を中心とした連携型を軸に市独自の3つの教育課程を設け、小中一貫教育に地域の意見を反映させるための懇談会や推進委員会などを組織しました。

また、市議会でも特別委員会を立ち上げるなど全体で推進していく体制が整えられています。

本市においても、小中一貫教育の研究・検討がスタートしており、行政と教育現場が一体となって準備を進める必要性を感じました。

教育厚生委員会

付託案件の審査

9月14日、第3回定例会で付託された請願1件について、審査しました。

◇請願第1号

教育予算の拡充を求める請願

審査では、請願要旨は妥当であると認め、全会一致で採択すべきとなりました。

